磐城新聞　昭和十五年六月二十七日　第五千八百五十六號　（木曜日）　（一）
大正十三年四月二十二日第三種郵便物認可
夕刊　磐城新聞　六月二十六日發行
發行所　磐城新聞社　振替口座東京一〇八〇五六五番

夏日隨感

横山三郎

（一）

一見平凡な我々の日常生活ですら複雜多岐である。一日の生活を詳細に寫したなら恐らく一卷の書を成し一生の出來事を記錄するようなら汗牛充棟の書たり得るであらう。

その日常生活の中から、著したゞ今日までうち捨てられてゐた。或は埋もれてゐた短歌の素材だけを摘出するとしたら小半日の身辺の出來事を以つてしても尚足るであらうとも云へる。

然しその摘出された生活の記錄が直に文學であり短歌ではあり得ないのである。

矢張りその中のほんの僅少のもののみが自己を表現すべき媒材として拾ひ上げられ、その他の大部分は依然として短歌の世界からは切捨てられる雜象なのである。短歌の世界に於ける素材と云ふものはそんなに無雜作にそこらに充滿してゐるものではない。

それは何故か。結局短歌は抒情詩であることの本質が、素材を制限するのである。即ち吾々の日常生活が吾々を圍繞して人生の萬華鏡を現出する。然しその萬象の大道分は數日を出でずして心に寸影をだに止めずに忘れ去られて了ふ。吾々の心に訴ふることのないものに短歌は生れ得ないのである。その複雜極りない事象の中から特殊な僅少の事象のみが吾々の心に或は必然に或は偶然に吾々の心の奧底にふれてくるのである。

理論としてはどんな素材でもそれが短歌としての態樣を具備してゐるなら一應は短歌である。けれどもその作品が一箇の文學として存在價値を具ふる短歌としての態樣の具備せる事のみによつてそれを短歌であるとは云ひ得ぬのである。

短歌に於ける對象の世界を擴張すると云ひ、未發見の題材を開拓すると云ふ。が短歌が抒情詩であると云ふ限界から離れて、それらの努力も何等價値を有せぬものである。これらの事象の中にも感情に移入し得る價値ある間隙を見つけて新しい素材を發見し取入れるには不斷の注意と不斷の努力がなければならない。それは廣汎な世の中の實相に對して何と云ふちつぽけな世界であらう。然しそれが嚴然たる事實である

6月27日
△高山彦九郎屠腹す（寛政五）△小泉八雲生る（嘉永三）△日本銀行條例公布（明治一五）△林權助男逝去（昭和一四）

亡妹悲歌

露木椛夫

（一）

○あきらめて心靜かに誦したまふ父のみ聲の澄みてさやけし

○はたち餘り生きながらへしいのちさへとうときものとなぐさめあひぬ

臨終

○呼吸あらく泪たゝへていたりしが醫師をまちてくすり飲みたる

○我儘に振舞ひ過ぎしこゝろ悔ひ素直に母にもうしかける

○

朝に紅顏あつて夕に白骨となる　蓮如

講談

夜嵐お絹

［104］　悟道軒圓玉　筒井直衛畫

計略

『此の鐵砲を俺に貸してくれ　觀音の鳩を射つてそいつを鍋にして一杯飲むことにしよう、鳩鍋などはおつなものだ』

『不埒な事を申すナ、さア早く行け此の上にも鬼や角申すと縛り上げるぞ』

『何だ、縛るなら縛れ』

と唐人龜は臭い息を歩哨の兵士へ浴びせて擦り寄つた、兵士はハッタと怒り無禮者めと龜の腕を捻あげて腰から繩を取出して縛り上げた、龜は足を踏み鳴らして

『野郎め縛りやがつたナ、俺を誰だと思ふ、勿体なくも恭なくも』

『コレ何を申す』

『言ふ事があるから云ふンだ、勿体なくも恭なくも生一本の江戸ッ兒だぞ、權現樣が此の土地の匂ひを嗅ねね內から江戸に居たンだ、太田道灌六十代の孫だぞ』

『此奴は氣狂ひだ、コレ暴れるナ靜かに致せ』

ズル〳〵と引立てゝ留置場の戸を開き繩を解いてポンと突き入れた其時龜はペロり舌を吐いて、

『ヤイ官軍、覺ゑてろ、こんな暗い所へ入れやがつてアー、快い心地だ、ヤイ官軍水をくれ』

『始末の惡い奴だ』

『水をくれ、水を飮ませねえと此の羽目を蹴破るぞ、惡留せず〻もそこ放せ、あすの月日がないぢやなし、留る〻なたの心より歸る此身がどんなに辛からう、ヤイ官軍此ァ唄が判つたか、これは二上りだせ、馬士唄ばかり聞いてゐるお主には判るめえ、ヤイ水をくれ』

『山本どんあの馬鹿者に水を飮まして下さい』

茲で牢番が禿げた碗で水を持つて來て、

『飮め〳〵』

『有難てね、〳〵酒に醉つた時に飮む水は甘露のやうだナ、茲には誰も居ねえか番人は外へ出たナ、ヤイ番人まだ用があるンだい』

と云つた時に

『龜さん大層好い機嫌だね』

艶のある聲を聞いて龜は

『誰だえ、俺を龜と云つたのは』

『わたしだよ』

此の時龜は此の留置場の外に目を走らせ、番人の居らぬのを見定めて

『おきぬさんかネ』

『何うして此んな所へ來たの』

『お前さんを此の屯所から引き出す爲さ、親分や酒井さんと相談して書いた狂言だッ』

『オヤさう、酒井さんは濟川の親分の所に居るの』

『昨日來ました、オイ番人水をもう一杯くれ……酒井さんはお前さんの事を心配してゐますから、昨日わつちが此方へ來てだん〳〵聞くとお前さんは官軍につかまつて此の傳法院の屯所に居る事を聞いて』

『何んだ、靜かにしろ』

『番人、歸つて來たナ、ヤァ水を持つて來い、行つちまつたナ、ねえおきぬさん、わつちが此所へ入つたはお前さんと近寄る爲、宜うだネ、唐人龜は軍師であらう』

『オヤ、そうそんな事とは知らなかつたわ、わたしネ三藥さんと云ふ幇間と一緒に十五日に上野まで行つたが、酒井さんに會へずそれに雨のやうに彈丸が降るから山谷堀の山崎屋に寄つてそれから猿若町に歸つたが何うして此の家が官軍に知れたのか、此の傳法院の屯所から兵士が來てお前は彰義隊に由緒の者であらう、聞くことがあるから一緒に來いと茲へ連れられたの』

『へエーさうですか、三藥と云ふ奴はどうした』

『逃げてしまつたよ』

『まア心配もナンもな、キッとお前さんを助け出すから』

『茲へ火をつけるの』

『そんな事は出來ねえ、今日の暮れ方にお前さんは丸ノ內の役所へ送りになるさうだ、其途中引つ攫つて濟川へ伴れて行きます、それまでの筋書は出來て居るンだ』

一段聲をひそめた龜はその手段をさゝやいた

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

燈火管制用電氣カバー
此レダ〳〵　規定通り試驗濟の
標節燈火管制ニハ是非御利用ヲ
六〇ワット以下ノ電球ニハ調節自由
ニ減光出來マス
空襲管制ノ場合ニモ調節ニテ消燈同樣ニナリマス
長時間遮光スルモ器具ニハ燃燒ノ恐レアリマセン
防空用器具、投砂袋
折疊式竹梯、管制カバー
平市南町三〇番地
製造元　福屋漆器店
丁場南町四六番地
電話「呼」七三二番
振替口座東京八二、九九九番

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さう…………
平市本町二丁目　玉屋

產婦人科
井坂醫院
見習看護婦入用
平市田町　電五五九

硝子類一式實用價販賣
菓子壜、美術食器
板ガラス、陳列ケース　各種
平市一丁目
薄ガラス店
●窓硝子スピード修理致します

內臟外科
泌尿器科　レントゲン科
北川外科
◎入院隨時
醫學博士　北川芳夫
平市新川町〔電四六四番〕

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顏術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術　電話 六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

吸入用酸素
呼吸困難治療として早くおすゝめ下さい
流行感冒豫防に（マスク）各種あります
病氣豫知に（體溫器）各種あります
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

吸入用酸素　純度99％
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體溫器
寒暖計
秤ノ取締　蚕糸・絹織物ニ　精密シャス・
關內藥局
電話四〇番

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇
振替仙臺五一〇番
〔平市事務用品商會〕

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主院長　醫學博士　鈴木定藏
內科 小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平市田町（電話六〇一三番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木吾政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
入院隨時
內木外科醫院
醫學博士　內木宗八

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
㊮マルミ粉末石鹼
製造元　平市材木町一二

漢方すぐりは 生公華
皇漢藥と＝生公華
◎皇漢藥を愛するは國民の用務なり、國產愛用の今時輸入藥は成る可く遠避け漢藥に眞念を持つは人世百年の生命なり。
◎本藥生公華は漢方貴藥のみ數種を配合し特殊の調劑法に依る藥で總て疾患部と足の土踏ずに直接皮膚面に貼用す。此の藥の主成分グリコシードと卵の中のレステリンとを調合した、生公華は浸透吸收し血液循環を良好ならしめ其の効力實に顯著なる名藥に付一應御試し下さい。內臟中の病氣から外傷ならば內服藥も必要はありません。
藥價　八〇　五入　九十五錢
四〇五五袋入　二圓廿錢
四〇五十袋入　四圓
福島縣平市五町目角
山野邊藥局

肋膜炎 氣管支 中耳
關節炎 神經痛 腰
肺炎 ロイマチス

アミトー 治淋新劑 主劑
六〇七號

來月から新方針で 四割八分減に對應
地方の清酒販賣統制

醸造石數の制限に伴ふ清酒小賣商人への配給調整に關しては市、郡下醸造當業者三十五軒、關係小賣業者二千餘名の總元締たる平税務署に於て大藏省當局通牒の趣旨を体し、刻下の品不足時代に善處して配給統制の圓滑を期するため夫々對策する處あり、此際一番公平適正な方法として既往兩三年の取引關係を調べ之を基準として各小賣店へ配給する方針で大体來月一日から實施さるゝと云ふが、根本が約半減に近い四割八分の減石から市郡下に於ける以前の一萬數千石が九千台に激減して居る今日、當局に於て統制上幾多の作爲に出るにせよ、結局各消費者の自粛的節約に俟つに非んば差當り需給の圓滑を望むは相當困難な樣である

惡くて高ければ 自然消費が減る
結局當局の方針に合致か

前記地元の酒造組合を督勵して來月一日から實施すると云ふ清酒の新配給基準が果してどんな程度に於て有形に結果するかは、縣の公定價格決定以來依然として粕取り燒酎が出廻らぬ等、昨今當業者に於ける取引き技術の複雑性から觀て遂かに豫斷を許さぬものあるが當局の方針が既に嗜好者に消費節柄を第一として居るに加へ、消費者側に於ても昨今漸く以前の劣惡に逆轉したらしい節ある現在の酒質と少くも二圓七十錢を出さねばならぬ高價とは消費階層を賑つて厭應無しに禁節酒を餘儀するので、期せずして當局の方針と合致し或は案外良好な調整を來すでは無いか／と之は地方に於ける一部玄人筋の臆測である

工校敷地埋立
新たな計畫で 委員會再開

工業學校の敷地埋立は既報の如く物價騰貴から請負者と解約、市では新たなる計畫に基き準備を進めてゐるが明後二十八日午後一時から更に委員會を開き協議する

月例短歌會計劃
地方同好者間に新機運

地方には從來比較的多數の短歌人を有し乍ら差當り適當な指導統制の方法が執いて居なかつた爲め動もすれば沈滯勝ちであつたが今回二三先輩提唱の下に市內田町高久病院木苑莊邊を會場として毎月一回 日曜を卜し例會を開いて相互の向上に資すべく計劃中で成案の上各方面の同好に呼び掛ける筈であるが八月頃からになるらしい

司法保護事業協議

市では二十七日午後二時から市會議事堂で司法保護事業につき協議

國民學校体練科 準備
昨日來平第一校で 地方小學教員の講習會

縣体育協會平支部主催の体操講習會は本縣女子師範學校佐藤寅四郎教諭を講師として昨二十五日より平第一小學校に於て開催、午前九時より午後四時迄の長時間に亘つて熱心講習を續け明二十七日を以て終了するが出席百二十餘名、一同銃後教育人の眞劍味を見せ非常な好成績であつた

右は明年度より實施せらるる國民學校の体練科に備へ縣下に率先設備したもので收穫大なるものありとされてゐる

麥作豫想收穫高

市郡下の本年度麥作豫想收穫高左の如く一般的に絶肥並に勞力不足はあつたが縣の增產奬勵による作付反別の增加と氣候適順に惠まれ成績見るべきものがある

△石城(大麥)四五、四四四石(裸麥)二二石(小麥)一四、五七七石計六〇、〇五三石

△平(大麥)一、三二三石(小麥)五三〇石計一、八五三石

內鮮融和に
平出張所開設 協和會擴充計畫

縣では健全なる半島同胞が今や地方各炭礦の重要なる勞務資源をなして居るに鑑み更に內鮮融和と指導誘掖の萬全を期する爲平市に縣協和會出張所開設を計畫して居る外九月中平外三方部に協和事業々務主任打合會と縣下十ヶ所に講演映畫會を開き、また內鮮融和は服裝からと日本服着用に導くため和服裁縫講習會も計畫されてゐる

天氣は崩れる？
田植ゑに寸時を爭ふ折柄 蚊の涙にも喜ぶ地方農家

田植ゑに寸時を爭ふ地方昨今の水不足は既報の如く昨今愈よその深刻を加へ一部村落では當面の灌水に目の色變えて徹夜の狂奔を續けてゐる矢先き昨夜來の降りはその量に於て假令蚊の涙に過ぎぬが、時節柄桑にも縋る急場とて灰の如く乾き切つた田の面が刻々水氣に黑ずんで行くのを樂しみ眺めて居る。幸なるかな今明へ掛けて幾分天候も崩れ掛る氣配あり、假に大量の降りは無くもこれによつて相當緩和されるものと觀られてゐる

けふ一齊に共同田植
市內鯨岡部落で

水不足のため延びてゐた市內平窪方面の田植も着々進捗、既に大部分終了したが鯨岡部落では今二十六日早朝來の降りを機として一齊に出動、田植祭を行つた上部落民共同で植付けを終へなほ部落出身出征遺家族宅へは部落民が奉仕、力強い銃後風景を見せた

石炭を種に
六百圓を詐取

內郷村宮字平太郎石炭ブローカー門馬自由(四〇)は去る三月十五日茨城縣多賀郡磯原町習炭商豐島兵作から石炭を買つてやる約束で五百八十圓を詐取したこと發覺平署に檢擧された

不正米屋續々檢擧
平署遂に寶刀を拔く

平署經濟警察係りの不正米穀商狩りは愈よ出で愈よ急に既に數十名を檢擧にあげ、うち惡ラツなものは斷平處斷の強硬方針に出て居るが泉村下川米穀仲買商高野義種(四四)は村內及び小名濱、磐崎方面から米二百俵を買占めて小名濱町小賣業者に賣り、また湯本町米穀商倉澤重三郎(四〇)は同じく米一俵當り一圓乃至一圓五十錢高く買ひ受けて一俵當り二十圓以上に賣り渡し何れも三百餘圓の不當利益を得たもの　この外暴利を目的とする買ひだめ、賣り惜みなど、暴露してゐると

既定豫算の範圍內で
嬉しい臨時賞與の通牒

昨報、小學校並に靑年學校勤職員に對するうれしい臨時賞與支給に關し二十五日地方市町村にも夫々通牒が入つた

即ち先月から小學校教員の俸給は國庫下渉金による縣費を辨ずながら旅費、慰勞金(賞與)住宅料賄料、疾病治療料、臨時手當、兼任手當は市町村の負擔となつてゐるので今回の臨時賞與は當然市町村の負擔であるところからこの通牒が發せられたものであるが尙ほ縣は市長村がこの臨時手當支給によつて不足を生ずるとも兎も角既定豫算のた範圍內で支給すべしとの見解を持してゐる

平署小異動

今回の警察官異動で平署經濟係巡查佐藤雅之助氏は部長に昇進、須賀川署巡查五十嵐義雄氏は平署勤務を命ぜられた

連込みの不審男は 果して婦女誘拐犯

平署菊池、荒岡刑事は數日前某事件捜査のため磐崎村姥の湯を訪れる洋裝女を連れた不審な男が泊り込んでゐたので取調べた 男は相馬郡中村町原釜興行師阿部博(三九)女は東京府南多摩郡町田町女給關靜子(三三)

阿部は今月八日頃小名濱町生れの深谷スイ(三二)に『滿洲へ行つて妻に迎へるから』とその旅費をつくる名の下に女を水戸市奈良屋町の魔窟街に三百圓で賣り飛ばした婦女誘拐男で前記靜子をも同じ手で賣るらしかつた

陣中を聽く
788

及ばず乍ら小兵も 市の爲に盡し度い
鎌田町出身 鈴木繁彌君(通信)

謹啓、其後市長殿にはお變り御座いませんか 相變らず御消健にて業務に御努めの事と御察し申上げます 其後暫らく御無音に打ち過ぎ誠に申譯御座いません 小兵も御厚情に預かりお陰を以て日夜大過無之、軍務に奮闘致し居りますから何卒御休心下さい。

市長殿よりは度々の御厚情、預り誠に感謝感激に耐わません。厚くお禮申上げます。尙ほ市の皆々樣に宜しく御通知下さい。

小兵も平市の爲に一層努力致し御厚情の萬分の一に酬ゆるの覺悟で御座います

先は御通知旁々御伺迄

專心軍務に
市內中平出身 新妻光司君

謹啓市長殿はしめ皆々樣には御變り御座いませんか降つて小生儀久しく音信不通にて甚だ申譯ありません御不精の段平に御許し下され度御願ひ申上げます。

お陰樣にて不肖現在迄銃後皆々樣御一同樣の御銃後により意氣衝天 粉骨碎身の覺悟で皆樣の御期待に副ふ樣一意專心軍務に勉勵致し居ります故何卒御休心下され度、

最後に臨んで皆々樣の御健康をお祈り致します。

暴戾を制壓
市內白銀町出身 松本健次郎君

暑中御見舞申上げます。叔父母上樣にはこの暑中御變り御座いませんか御伺ひ致します、當大陸中支も既に百數度の線を上下して居る有樣です。實に炎熱灼身です而し將兵は愈々士氣旺盛、暴戾蔣政權を制壓しつゝ新東亞新秩序建設に邁進して居ります。惡夢より目覺めたる支那民衆はやさしい皇軍將士の手に近きつゝある現狀です、

先は暑中御見舞迄。早々

スリ犯人 忽ち捕はる

澤渡村下市萱齋藤カツヨさん(三六)は昨二十五日夜市內聚樂館でレヴュー見物中懐ろの現金二十圓入蟇口をスリ取られたが折か、場內取締り中の菊池、笠原兩刑事の捜査により僅か十分足らずで犯人の好間村日曹小田炭礦支柱夫金澤某(二八)を檢擧した

贈山崎巡查敎習所長
瑞雲　小野務平

豪宕不羈心操濟
下僚晨夕頌温情
勵精刻苦事黨育
門下聯翩看後英

寄附

市織物外商々業組合では總會費用を節約、金五圓を市銃後奉公會へ寄附した

立川町議來平

東京府下北多摩郡立川町議外關係者の一行は今二十六日市役所を訪問各方面の施設などにつき調查市制實施の參考資料を蒐集した

市會招集來月上旬か

平市會は來月上旬招集の豫定で注目の磐炭出願市地下採掘問題も附議されるものと見られる

濃艷使節—明後日(晴)の歸還
公會堂で演藝公開

既報、無事使命をはたして大陸を引き上げた新田町の演藝慰問團一行はけふ上野驛から福島に二泊の上愈よ二十八日午後二時五十分の磐越線により約四十日振りで平驛に歸還、驛前で市民の歡迎を受けて縣社子鍬倉神社に無事歸還を奉告し翌二十九日午後一時から市公會堂で歸還報告演藝大會を一般に公開することになつてゐる

詮衡の結果を待望
平市の架設電話

平局に於ける本年度架設電話の詮衡結果判明は最初或は今月末頃では無いかとの豫想が行はれたが仄聞する處によれば仙遞局の調査は目下尙ほ繼續中にあるらしく、此の邊から觀て恐らく來月中旬頃の見込で尙ほ數の如きは地元では全然見當がつき兼ねるとの事で時節柄申請關係者の待望は從來以上である

平市慶弔錄

△出生　紺屋町四五藤田貞夫氏長男善一郎君、本籍久保町四好間村上好間字小館四九鈴木菊之助氏四女照惠さん

○婚姻　赤井村西小川字田頭三九猪狩通氏(二九)と南町七二齋藤富榮さん(二三)

▲死亡　禰宜町一眞柄好子さん(三)

拈華微笑

善隣邦友の元首を迎へ申上げ、今日新綠一入匂ふ

□ 地方生産酒一萬石、敢て笹の露とは云はぬが左黨には些か物足りぬ

□ だが其れも高い癖に懸ければ飮まぬ許りだ〳〵と醜草の趣味とは一種異るか

□ 藥の一片に獅嚙みつく氣持ちで蚊の涙程な雨に合掌する哀れ農家

□ 演藝慰問團歸還。新田町の勞務資源四十日振りで平常復歸

新六月二十七日　木曜　舊五月二十二日　辛丑　友引　危　斗宿

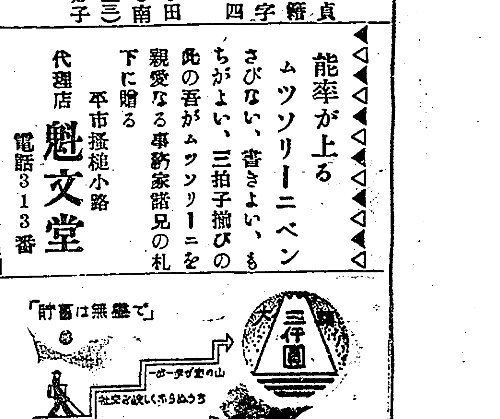
▲一白　出來る丈けの働きに安んじ深よくせざること▲二黑　人事は成るべく手を控へ獨りたつゝしむべし▲三碧　守ることを先にせされば屢に乘ぜられ易し▲四綠　守勢をとり表に現れすうらん默するが無事の日▲五黃　座談より進退に窮する程の大事の生ずる日▲六白　健全なる歩調を取れば急がずとも捗せらる▲七赤　口をつゝしめば大ていの事は成功すべき吉日たり▲八白　他に出でゝの周旋事は不結果に終り易き日▲九紫　一くわく千金を夢る時は屑根もはぎ去らるべし

二十六日（小名濱測候所觀測）
滿潮　前九、四五　後八、一〇
干潮　前二、五五　後二、三五

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩　南の風曇小雨
明日　同

能率が上る
ムツソリーニペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃びの此の吾がムッソリーニを親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
平市撥槌小路
代理店　魁文堂
電話313番



眼科專門
眼鏡檢定
平驛前
重田醫院
重田眼科

移轉御披露
市內白銀町二番地在任中は一方ならぬ御眷顧を被り日夜感激致して居りました。今回業務擴張の爲左記へ移轉致しました。何卒倍舊の御支援をお願ひ致します。紙上を以て御挨拶迄。草々
平市四丁目三十二番地
住友生命保險株式會社
平事務所
主任　鯨岡金之助

肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場
生スッポンの『生血・生膽』を御勸め致します
平市六丁目通り
生スッポン特約養鼈場
さかいや商店
養鼈場　平市正月町一番地
スッポン黑燒、むし燒粉末もあります

母テウ儀永らく病氣の處本二十五日早曉天壽を全ふし死去致候に就ては來る二十八日午後二時自宅出棺菩提院に於て葬送の儀を相營可申候に付此段御通知申上候
追而時局柄花輪供物等一切御辭退申上候
昭和十五年六月二十五日
喪主　加納邦武
男　佐藤作平
外　親戚一同